

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和 3 年 1 月 1 8 日

計画の名称	毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合水再生計画Ⅱ（防災・安全）			
計画の期間	平成28年度～令和2年度（5年間）	交付対象	毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合	
計画の目標				

終末処理場の長寿命化及び耐震化を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し良好な環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ①安全で強固な処理場を確保するとともに、長寿命化を図る。
- ②安全で強固な処理場を確保するとともに、耐震化を図る。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

備考

① 処理場における長寿命化策定率 長寿命化計画済みの処理場水処理系列数/長寿命化をすべき処理系列数（3箇所）	当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30当初)	最終目標値 (R2末)	
	11.1%	22.2%	33.3%	
② 処理場における耐震化率 耐震化した施設数/未耐震化施設数(7施設)	0.0%	0.0%	100.0%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	757.5百万円	A	757.5百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	----------	---	----------	---	------	---	------	---------------------------	------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合社会資本総合整備計画評価実施要綱に基き公共事業評価委員会を設置し、事業評価を行う。	令和3年2月予定。 公表の方法 ホームページの掲載により公表。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基幹事業											全体事業費 (百万円)	備考					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名			事業実施期間（年度）				
											H28	H29	H30	R元	R2		
A1-1	下水道	一般	毛呂組合	直接	毛呂組合	処理場	改築	毛呂山処理センター長寿命化事業（毛呂山処理センター）	実施設計・水処理施設・汚泥処理施設	毛呂組合						497.5	長寿命化
A1-2	下水道	一般	毛呂組合	直接	毛呂組合	処理場・ポンプ場	改築	毛呂山処理センター等耐震対策事業（毛呂山処理センター外）	計画策定・耐震診断・実施設計・耐震対策工事	毛呂組合						248.6	耐震化
A1-3	下水道	一般	毛呂組合	直接	毛呂組合	処理場	改築	毛呂山・越生・鳩山公共下水道ストックマネジメント事業（毛呂山処理センター）	実施設計	毛呂組合						11.4	長寿命化
小計（基幹事業）																757.5	

A2 港湾事業

A2 港湾事業											全体事業費 (百万円)	備考					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	港湾種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名			事業実施期間（年度）				
											H28	H29	H30	R元	R2		
小計（港湾事業）																	
合計																	

B 関連社会資本整備事業

B 関連社会資本整備事業											全体事業費 (百万円)	備考					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）							
											H28	H29	H30	R元	R2		
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H27	H28	H29	H30	R元		
合計														0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

①終末処理場の延命化を行った結果、3箇所（水処理系列）のうち1箇所において計画の策定が完了し、33.3%の計画策定率となった。  
②終末処理場の耐震化を行った結果、7箇所のうち5箇所において耐震対策が完了し71.4%の計画策定率となった。

II 定量的指標の達成状況	指標①（処理場における長寿命化計画策定率）	最終目標値	33.3%	目標値と実績値に差が出た要因	耐震工事を発注しても請負う業者が決まらず思うように工事が施工できなかった。
		最終実績値	33.3%		
	指標②（処理場における耐震化計画策定率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	71.4%		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況  
（必要に応じて記述）

①終末処理場の長寿命化を実施した結果、管理棟、機械棟及び汚泥処理棟等の各電気設備（監視制御設備等）の延命化が完了した。  
②終末処理場の耐震化対策を実施した結果、流入渠等の実施設計並びに越生幹線及びポンプ場の耐震診断が完了した。

3. 特記事項（今後の方針等）

安全で強固な処理場を確保するため、次期（R3年度からR7年度）、社会資本総合整備計画（防災・安全）においても、引き続き延命化及び耐震化を行っていく。